

第9回総会資料・特集号

組合員各位

協同組合日本写真家ユニオン

代表理事 芥川 仁

2011(平成23)年度、協同組合日本写真家ユニオン第9回通常総会のご通知

第9回通常総会を定款第38条に基づき下記の通り開催することを公告いたします。総会への出席は組合員の大切な義務であり権利です。必ずご出席下さいますようご通知申し上げます。

総会の成立は定款第39条に定めている通り総組合員の半数以上の出席が必要です(書面議決書、委任状含む)。やむを得ず欠席される場合は、必ず所定の[書面議決書]か[委任状]を**6月22日必着**でご提出下さい。

記

日時	2011(平成23)年6月27日(月)
開場	午後1時00分
開会	午後1時30分～5時
会場	東京都中央区京橋プラザ区民館1号室 洋室
議案	第1号議案 平成22年度事業報告承認の件 第2号議案 平成22年度収支決算報告承認の件 第3号議案 平成23年度事業計画決定の件 第4号議案 平成23年度収支予算決定の件 第5号議案 借入金残高の最高限度額承認の件

京橋プラザ区民館 1号室 洋室

東京都中央区銀座1丁目25番地3号

TEL 03-3561-5163

携帯 090-2566-7053 唐木まで

TEL 03--6280-5786 (写真家ユニオン) は、唐木に転送されます。

☆「出欠・書面議決書・委任状」のFAXかハガキを必ず6月22日必着でご返送下さい

◎総会は、書面議決書、委任状を含め、総組合員の2分の1以上の出席がないと成立しません

(定款第39条)。出席できない組合員は、署名・捺印の上、必ずお送り下さい。ハガキ、FAX、メール、持参も受け付けます。

☆総会は午後1時開場です。実りある討議をすすめるためにご協力をお願いします。

◎出席予定の組合員の方も万一に備えて「委任状」か「書面議決書」を必ずお送り下さい。

◎組合員懇親会は午後6時00分～8時00分。参加費は3,500円(予定)です。仲間との交流を深めましょう。



- ◆地下鉄銀座線京橋駅下車6番出口 徒歩10分
- ◆地下鉄有楽町線新富町下車2番出口 徒歩5分
- ◆都営浅草線宝町駅下車A1番出口 徒歩8分

東日本大震災で被災された皆様にお見舞い申し上げます

相互扶助の精神を見直す時

(協)日本写真家ユニオン 代表理事 芥川 仁

東日本大震災による被災者の多くが、今日も避難所での暮らしを続けています。一日も早く平穏な日常を取り戻してほしいと願わずにはおれません。この大震災は、福島原発事故による放射性物質の影響を考えると、物質的な豊かさを追い求めた戦後日本に見切りを付け、新しい暮らしの形を迫っているように思えます。

そんな時代に開催される第9回通常総会に当たり、8年前に経済産業省から協同組合の認可を受けた創立当時を思い出しています。設立趣意書には、急速に進む写真のデジタル化に対する危機感の中、経済的弱者の個人事業主である写真家が、相互扶助によって時代の変化を乗り切り、経済的、社会的自立を達成するために設立すると謳っています。写真家502人を擁する日本写真家ユニオンが、写真家のために事業を展開するのだ。創立時には、そんな熱気がありました。

さて現実には、写真のデジタル化は急速に進行しましたが、写真家の仕事は二極化し、低賃金の日当で撮影をする仕事が増えているのが現状です。若者が「写真家になりたい」と夢を語る時代は過去のこと。

だからこそ、相互扶助の組織である協同組合の存在は重要です。今総会でも、新しい事業企画が提案されています。現在の組合員数は128人と、創立時の4分の1に減っています。しかし、今改めて、創立時の熱気を思い起こし、今年度の運営に精力を注ぎ込みたい決意しています。組合員の皆様の積極的な参加を期待しています。

精力的に事業展開を推進しよう

副代表理事 若生 靖夫

第9回総会に向けて、平成22年度は日本写真家ユニオンにとって基盤堅めの年になりました。eBookの制作も新しい体制でスタートしました。著作権事業部も積極的にセミナーへの参加や活動を展開。教育事業部もセミナーを順調に行うことが出来、沢山の方々に参加して頂きました、又キャノンマーケティング(株)・(株)ニコン(株)ニコンイメージングジャパン・シルキーピックス(株)・(株)ナナオ・(株)スタートラボ(株)シグマ他沢山の企業にご協力頂いたことを感謝いたします。

各事業部・委員会に於いては、少しでも組合員の皆様に還元出来る内容をと進めてまいりました。理事の皆さんは交通費も経費もなく手弁当でこの一年頑張ってくれました。本当に感謝です。

23年度は各事業部により新しいセミナーの予定と、東方インターナショナルと大きく3つの事業展開をしてきます。又東日本大震災の被災者を励ます。ボランティアプロジェクトを写真業界として取り組む提案を日本写真家ユニオンとして呼びかけております。皆様のご支援とご協力をお願いいたします。ぜひとも皆さんが一丸となって推進して頂きたいと思っております。

第1号議案

平成22年度事業報告承認の件

◆総務部

随時新入組合員の加入を受け付け、22年度は6月に村田三二さん、10月に中村和雄さんが12月に内田雅史さんが新規加入しました。22年度末3月31日をもって脱退した組合員は16名でした。現理事の野邨幸和理事は病気治療のため、脱退を表明しております。また、賦課金未納による除名対象者は3名で、本総会の決議をもって除名が成立します。成立した場合の正規組合員数は、123名となります。JPUニュースは、引越しによる事務局整理、定款変更手続き等の事情で34号から36号まで3回の発行となりました。ホームページも、可能なページ部分は、事務局に寄せられた情報を元にタイムリーな情報提供を心掛けました。組合員証の発行については、今期も郵送物への同封を基本とさせてもらい、通信費の削減に協力してもらいました。急ぎの請求分については対応させてもらっています。総会の時期が6月ということもあり、23年度より、有効期限を4月としデザインも一新されました。プレスカード等の販売については大きな動きはありませんでした。今年度の大きな動きとして、2年半の兼用事務所から脱して今年の9月より、

中央区新富に新たな事務局を借り、定款変更など、必要な手続きを終了しました。(株)シグマより、借りているキャノン・ニコン対応のそれぞれ11本のレンズは組合員むけに貸出しを継続しています。尚、試用レポートの公表を含め、8月上旬に「EIZO」のギャラリーでの写真展が予定されています。

(総務部担当 唐木孝治)

◆財務部

一般管理費は去年の事務所移転に伴う移転費用がかかったことで、22年度当初予算の3,282,960円から3,547,237円と264,277円の増加となっている。転居費用としては最低限に抑えた金額であり、ご理解いただきたい。未払金は21年度決算の1,450,188円から1,080,108円に、買掛金は1,500,000円から1,000,000円にそれぞれ返済により、減額となった。しかしながら、22年度予算で計画していた事業収益が伸び悩んだことにより、新たに660,000円の借入を行い、長期借入金は22年度では400,000円返済しているが、差し引き借入残高は2,760,000円と21年度決算から260,000円の増加になっている。税引き前当期純

利益は277,501円を計上しているが、-8,021,589円の繰越剰余金があり、22年度決算の利益剰余金は、-7,744,088円となった。

(財務部担当 佐藤浩視)

◆教育事業部

22年度は、交流をテーマに組合員同士とアートメンバー勧誘のため、経費負担を極力少なくして3回の撮影会を行ないました。また、メーカーのご協力をいただき、5回のセミナーを開きました。内容については、以下の通りです。

4月10日 新宿御苑 撮影会 / 5月15日 昭和記念公園・モデル撮影会 / 6月26日 原宿デザインフェスタ・「デジタルでカラープリントを極める」セミナー / 8月21日 台場・モデル撮影会 / 10月15日 キヤノンセミナー / 11月27日 シルキーピックス&ナナオ・セミナー / 2月25日 ニコンセミナー
3月30日は、京都での(株)スタート・ラボ小林貴氏による「記録メディア・光ディスク研究会」を開き今回も参加者には、DVDのお土産が付きしました。

(教育事業部担当 坂本阡弘)

◆著作権事業部

※ 下記のセミナーにそれぞれの担当者が参加した項目を記載しています。

22年6月18日(金)主催 日本著作権団体協議会 会場日本脚本家連盟会議室テーマ「権利制限一般規定に関する中間まとめの概要」講師文化庁室長川瀬真氏

22年6月26日(土)主催(協)日本写真家ユニオン教育部/著作権部 会場デザインフェスタ原宿テーマ「カラーマネージメント」「写真著作権よろず相談」講師 志賀・あがた氏

22年7月28日(水)主催(社)日本写真家協会 会場JCH6階テーマ「閲覧端末の登場と写真著作権」講師 北村行夫弁護士

22年7月30日(金)主催 日本著作者団体協議会 会場日本脚本家連盟会議室テーマ「2010年度著作権協議会総会」

22年8月25日(水)主催 著作権情報センター 会場明治記念館(富士の間)テーマ「著作権行政をめぐる最新の動向について」講師文化庁長官官房著作権課長 永山裕二氏

22年10月10日(日)主催(協)日本写真家ユニオン著作権部 会場写真家ユニオン会議室

テーマ「第一回権利問題委員会」講師 丹野顧問

22年10月20日(水)主催 日本脚本家連盟/会議室 テーマ「著作権分科会各小委員会での検討内容について」講師 文化庁官官房著作権課長 永山裕二氏

22年11月18日(木)主催 JASRAC シンポジウム2010 会場有楽町朝日ホール

22年12月15日(水)会場 日本橋フロントアビダス SM3 テーマ「画家と著作権」講師 大家重夫氏

22年12月22日(水)主催(協)写真家ユニオン著作権部 会場(協)写真家ユニオン会議室

テーマ「第二回権利問題委員会」講師 丹野顧問

23年1月15日(土)主催(協)写真家ユニオン著作権部 会場(協)写真家ユニオン会議室テーマ「第三回権利問題委員会」講師 丹野顧問

23年2月03日(木)毎日新聞社内に於いてセミナー開催「表現の自由と肖像権」講師 丹野顧問

23年2月24日(木)日本脚本家連盟の寺島アキ子さんのお別れ会出席

23年3月30日(水)主催 日本著作権団体協議会 会場青山BOOKセンターテーマ「権利制限の一般規定に関する事」講師 文化庁室長川瀬真氏

23年3月25日(金)今期で退職の文化庁室長 川瀬真氏にお別れ挨拶と「使用料規定」についてご意見を伺いに行く。

(著作権担当 古川正夫)

◆共同販売事業部

□デジタル販売部

組合員のデータ販売のための、システム運用の目処が立たないままですが、組合員の作品による営業展開のためにも、改めて作品紹介並びに販売のために、システム導入のための方策を探っています。

(担当 唐木孝治)

□ebook(電子出版)制作販売業務

22年度は、田中光常「キリン」「チータ」が発売となりました。そして、第1回公募展の副賞として、約束されていた、有賀哲夫氏の「天樹」が完成し、ebook ランドに公開されました。

(担当 唐木孝治)

オリジナルプリント委員会

オリジナルプリント展をギャラリー新居で5回開催してきました。20年度、21年度と続いた30万円超えの計上売上も、昨年度は10万円を欠ける売上となり、ギャラリーとの連携の強化を余儀なくされました。経済不況に震災の追い討ち、写真の転換期と写真家苦難の時代となりましたが、写真の将来につながる道を付けられたらと思っております。5年間、オリジナルプリント販売のJPUとしての基礎を築いた担当委員の皆さんに感謝いたします。

(オリジナルプリント委員会 杉山晃造)

◆市場開拓事業部

JPUアートメンバーズの入会申し込みは22年度4名となりました。(株)レスキューナウの「災害特販員制度」に登録した組合員の他、HPのレスキュー投稿サイトから一般組合員、(外部写真家含む)の写真投稿が可能になり、運用が継続されています。(事前にJPUから発行されるログインID、パスワードの取得が必要です)

震災による被害状況の写真が、佐藤浩視理事、志賀直人理事から投稿され、ダウンロードがされました。

(担当 鈴木忍)

財 産 目 録

平成23年3月31日現在

摘 要	金 額
一 資産の部	
1 流動資産	
現金	987
預金	517,377
普通預金 みずほ銀行	102,336
普通預金 みずほ銀行教育部	4,555
普通預金 三菱東京UFJ銀行	13,112
普通預金 三菱東京UFJ銀行事業部	47,289
普通預金 三井住友銀行	520
普通預金 郵貯銀行	456
普通預金 商工中金	4,250
郵便振替 郵便局振替口座	250,000
普通預金 みずほ銀行ノース	13,951
普通預金 みずほ銀行営業部	6,927
普通預金 みずほ銀行JPU展	835
普通預金 みずほ銀行著作権管理事業	3
普通預金 郵貯OP委員会	73,143
小口現金 前OP委員会未処理分	-9484
商品 第三回JPU公募展作品集	677,200
流動資産計	677,200
	1,186,080
2 固定資産	
無形固定資産 電話加入権	76,440
投資その他の資産	76,440
(株)ICJ出資金	6,550,000
敷金	350,000
固定資産計	6,900,000
資産合計	6,976,440
	8,162,520
二 負債の部	
1 流動負債	
買掛金	
(株)フレームマン	1,000,000
未払金	
繰越・税理士、松野給与	830,000
交通費(夏期セミナー)	250,108
未払法人税	70,000
預り金(23年度賦課金)	996,500
流動負債計	3,146,608
2 固定負債	
長期借入金	2,760,000
固定負債計	2,760,000
負債合計	5,906,608
三 正味資産の部	
1 正味資産	2,255,912

貸借対照表

自 平成 22 年 4 月 1 日
至 平成 23 年 3 月 31 日

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	1,186,080	【流動負債】	3,146,608
現金・預金	508,880	買掛金	1,000,000
商品	677,200	未払金	1,080,108
【固定資産】	6,976,440	未払法人税	70,000
(無形固定資産)	76,440	預り金	996,500
電話加入権	76,440	【固定負債】	2,760,000
【投資その他の資産】	6,900,000	長期借入金	2,760,000
出資金	6,550,000	負債の部合計	5,906,608
敷金	350,000	純資産の部	
		【株主資本】	2,255,912
		資本金	10,000,000
		利益剰余金	-7,744,088
		その他利益剰余金	-7,744,088
		繰越利益剰余金	-7,744,088
		純資産の部合計	2,255,912
資産の部合計	8,162,520	負債及び純資産合計	8,162,520

損益計算書

自 平成 22 年 4 月 1 日
至 平成 23 年 3 月 31 日

科目	金	額
【売上高】		
共同購買事業	77,866	
共同受注事業	67,735	
賦課金収入	3,275,900	
教育事業収入	22,400	
著作権セミナー収入	35,720	
オリジナルプリント収入	135,612	
ebook 収入	34,549	
プレスカード・腕章収入	8,400	
アートメンバー収入	18,000	
売上高合計		3,676,182
【売上原価】		
当期商品仕入高	40,950	
共同購買事業	19,055	
教育情報事業費	14,100	
著作権セミナー事業	34,720	
オリジナルプリント事業	65,772	
ebook 事業	19,344	
合計	193,941	
売上原価		193,941
売上総利益金額		3,482,241
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		3,547,237
営業損失金額		64,996
【営業外収益】		
受取利息	158	
受取配当金	1,200	
雑収入	124,000	
営業外収益合計		125,358
【営業外費用】		
雑損失	103,412	
営業外費用合計		103,412
経常損失金額		43,050
【特別利益】		
前期損益修正益	320,500	
特別利益合計		320,500
税引前当期純利益金額		277,450
法人税等調整額		51
当期純利益金額		277,501

販売費及び一般管理費内訳表

自 平成 22 年 4 月 1 日
至 平成 23 年 3 月 31 日

科目	金	額
福利厚生費	1,000	
外注費	1,976,872	
荷造運賃発送費	154,350	
会議費	17,366	
通信費	200,724	
消耗品費	21,890	
事務用消耗品費	14,613	
修繕費	35,800	
水道光熱費	43,583	
諸会費	194,000	
支払手数料	11,508	
リース料	147,945	
地代家賃	525,046	
租税公課	79,800	
雑費	109,060	
総会関係費	7,680	
販売費及び一般管理費合計	3,547,237	

監査報告書

協同組合 日本写真家ユニオン
代表理事 芥川 仁 殿

平成 23 年 5 月 18 日
協同組合 日本写真家ユニオン

監事 縣 誠而 ㊦
監事 高橋 喜代治 ㊦

- ・業務監査について理事会に出席し、関係書類の閲覧等必要とする監査手続きを用い、理事の業務執行に対する不正行為、法令、定款違反に違反する重大な事実はないことを認める。
- ・会計監査について平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までの事業報告に基づき、貸借対照表、損益計算書、現金・預金計算書等、及び附属明細書を監査した結果、平成 22 年度の収支決算については適正に処理、執行されていると認める。

第 3 号議案

平成 23 年度事業計画決定の件

◆総務部

組合員大幅減が続き、苦しい運営が続きますが、極力経費の節減に努め、相互扶助の基礎がために努めます。引き続き組合員の新規加入に、期待をよせています。ニュース発行は、年 4 回を目指し、ホームページを柱とした組合員のための情報提供とサポートを主とした事業を継続します。23 年度は理事 1 名の脱退により、11 名体制の理事会となりますが、引き続き各事業部の企画運営を支えていきます。賛助会員のキヤノン、ニコン、またレンズ貸出しをしてきているシグマなどメーカーとの意見交換も継続し、協力態勢を維持しながら、双方のメリットにつながる活動手段や組織としての事業展開などに努め、組合員の経済効果に繋ぐためアンケートを実施します。

(総務部担当 唐木孝治)

◆財務部

23 年度予算案の特色は事業拡大による事業利益の増額を目指したことである。継続事業は昨年度並みとしたが、市場開拓事業として新たに日本人対象の中国撮影ツアーと中国人対象の国内撮影ツアーを企画し 4,400,000 円の売上と 600,000 円の利益を見込んでいる。また、共同購買事業として BENRO の三脚販売を企画し、2,257,500 円の売上と 328,000 円の利益を見込んでいる。賦課金・出資金収入は昨年度より 267,000 円減の 4,493,000 円ながら、収入総額で 12,562,800 円と 22 年度より 5,235,500 円、71% 増とした思い切った予算案としている。これらの事業は本格的機材販売、外国人対象の撮影ツアーとユニオンとしては初めての事業になるが、ぜひ成功させて、長期債務の圧縮に繋げたい。一般管理費は昨年より若干抑えた 3,167,360 円とし、買掛金、長期借入金、未払い金の支払、返済総額は 1,630,000 円を見込んでいる。

(財務部担当 佐藤浩視)

◆教育事業部

昨年度は、メーカーにもご協力いただきながら経費をおさえ、組合員のデジタル化のレベルアップをはかりました。今年も昨年と同様、最少限の経費で改めて初心に戻ってデジタルの基本からのセミナーを企画し、組合員とアートメンバーの維持と確保に努めます。

(教育事業部担当 坂本阡弘)

◆著作権事業部

文化庁は平成 17 年頃からデジタルネットワーク社会の変化を認識し、著作権対象者からヒヤリングを重ねられ、今までの「権利制限の一般規定」の見直しを行ってきました。見直し案件を 23 年度の春の国会に法案を提出される予定だったそうですが、東日本地震によってどうなるか解っておりません。昨年度はその説明のセミナーが数多く開催されて、担当理事はなるべく数多く受講してきました。デジタル・ネットワーク社会に対する認識、写真界では創作活動におけるプロとアマとの混在化、アマチュアによる創作と流通が可能に、電子出版が社会に反映されて違法複製、違法な流通の増大などが問題に我々は注意深く見て行く必要があります。(協)写真家ユニオン著作権部会として「権利問題委員会」を立ち上げて、各セミナーに参加された内容の研究、又、著作権に関わる資料等を持ち寄って講師は丹野顧問にお願いして研究会をしております。解り易い勉強会ですから組合員の方なら何方でも参加出来ますのでお待ちしております。毎月第三土曜日午後二時より事務局にて開催予定です。参加者は前日に事務局へ連絡入れて下さい。(協)写真家ユニオン事業の存在を世論にアピールして行きましょう。本年度の営業目標は組合委員、会社、役所広報などに丹野顧問「著作権・肖像権」のセミナーの開催を進めていきたいと思っています。組合員の著作権相談はいつでも受け付けております。

(著作権担当 古川正夫)

◆共同販売事業部

□ ebook 制作販売業務

23 年度は JPS メンバーへの呼びかけも含め、新刊への勧誘並びに発売を進めます。呼びかけのための企画説明書をつくりまします。ebook 制作委員会と ebook2 社での発売への連携を強化し、新メディアでの写真を使った電子出版の販売促進のための企画を進めていきます。出版及び電子出版業界の動向を見据え、企画物・被写体の選定などニーズにあった方向への展開を進めます。すでにカンボジア、韓国のシリーズ化などに着手しております。

(ebook 制作委員会 唐木孝治)

□オリジナルプリント(OP)展

23 年度もオリジナルプリント展を開催します。第 6 回となる今展より、担当理事の新任と新たな

な委員会による、ギャラリーとの連携を強化し8人の組合員が参加しました。従来のモノクロフィルム銀塩プリントに加え、カラーデジタル・インクジェットプリントの作品も加わり、ギャラリー販売のニーズを探るOP展ともなっています。2011年6月3日(金)から15日(水)まで、銀座のギャラリー新居東京店での開催(日曜休館)となります。

(オリジナルプリント委員会 杉山晃造))

◆市場開拓事業部

*アートメンバーを引き続き募集し、会員サービスを広く告知していく。教育事業部と連携し、

アートメンバーの特典を実感してもらう。*レスキュー投稿コーナーへの積極的な参加を促す方法を再検討する。*各地の資料館や民間に眠る写真の記録としての価値を再評価し、展示公開していく。その活動に関する市場調査、及び事業としての展望を分析する。昨年度末より交渉を始めた、東方インターナショナルとの協力による、写真愛好家の中国人旅行者・在日の中国人写真愛好家を対象とした写真ツアー、コンテスト等の具体化に向け進める。

(市場開拓事業部担当 鈴木忍)

第4号議案 平成23年度収支予算案決定の件

1. 事業収入	23年度収入	23年度支出	内容
* 共同販売事業			
プレスカード腕章作品集販売	6,300	0	
ebook-A・B制作	130,000	12,500	プレスカード@2100, 腕章@2100,
ebook 印税	60,000	48,000	監修・本ebook制作費 80,000 + 50,000
ebook ランド - 登録料	0	15,000	印税、編集費用
ebook ランド制作費	240,000	216,000	eブック販売登録料 30000 × 3
写真販売オリジナルプリント	370,000	303,000	240000 × 1
オリジナルプリント展参加費	80,000	59,340	オリジナルプリント販売
オリジナルプリントHP改装費	0	0	ポストカード印刷代 オープニング経費
収入・支出合計	886,300	766,340	手数料 通信費
* 共同購買事業			
機材販売	2,252,500	1,929,500	BENRO カーボン三脚の販売 44000円 × 50本
	5,000	0	送付手数料
収入・支出合計	2,257,500	1,929,500	
* 共同受注事業			
出版物等使用紹介手数料・	300,000	270,000	出張撮影等請負含む
レスキュー取材紹介手数料	60,000	54,000	DR料 3000 × 20カット
HP運営、レンタルサーバ	0	25,000	レンタルサーバ、ドメイン利用料
収入・支出合計	360,000	349,000	
* 教育情報事業収入			
教育事業収入	500,000	450,000	受講料収入 10% 他、教材費
講師派遣	40,000	36,000	講師料、特別セミナー会場費、他
収入・支出合計	540,000	486,000	
・ 著作権セミナー			
外部講習参加・研究費	200,000	180,000	受講料収入、
デジタル販売	0	0	料金規定作成研究・外部著作権参加費
収入・支出合計	200,000	180,000	
* 市場開拓事業			
市場調査費	0	83,000	*27名のアートメンバーを集める
写真展関連事業	0	50,000	案内物印刷・運営費用等紹介手数料・勉強会経費
アートメンバー新規年会費	8,100	0	*JPU組合員が中国を訪問、歴史名街10 & 少数民族
アートメンバー継続年会費	12,000	0	族集落取材* 組合員講師撮影ツアー
アートメンバー関連事業	0	100,000	収入 1日 30,000円 × 5日 = 1,500,000円 × 4回、
JPU 中国撮影ツアー日本人対象	2,200,000	2,000,000	九州、京都、富士山、各方面
JPU 国内撮影ツアー中国人対象	700,000	600,000	* 出展料、選評料、他、1000円 × 1500点 = 1500000
中国人向けウェブ展 応募料	1,500,000	0	サーバー維持費、管理費、制作関係費
”ウェブ展 審査サーバー料	0	1,200,000	
収支合計	4,493,000	3,943,000	
* 福利厚生事業			
福利厚生事業		10,000	
収入・支出合計		10,000	
2. 事業外収入・支出			
買掛金		500,000	フレームマン (100万円)、
長期借入金		680,000	役員借入金 (276万円)
未払い金		450,000	未払金 3口、(108万円)
組合員証カード製作費		101,600	プラスチックカード
事業外受取り利息	1,000		
出資金	300,000		
賦課金収入	3,175,000		23年度賦課金
賛助会員費	100,000		賛助会社 2社分
賦課金収入新規加入者	250,000		
事業外収支出入計	3,826,000	1,731,600	
総売上・支出合計	12,562,800		

		9,395,440	
1. 一般管理費			
事務委託費 福利厚生費・慶弔費 リース費 旅費交通費		23 年度支出 1,560,000	月13万×12ヶ月、 弔慰金 コピー機リース料
通信費 運賃 什器備品費 消耗品費 事務用品費 印刷費		100,000 158,720 0 151,000 100,000 10,000	電話代・組合員向郵送物3回/年含む 郵便パック、ヤマト運輸他、CD返却等 パソコン備品、HD コピー用紙代、インク 事務用品関係、封筒、ゴム印
会議費 総会関係費 接待交際費 地代家賃 修繕費 水道光熱費		40,000 30,000 0 20,000 6,000 0	連絡・送料・理事会会場借用料他 当日経費 事務所家賃56730×12
租税公課・諸会費 税理士・司法書士報酬 支払利息 支払手数料 保険料 雑費		680,760 35,000 87,000 135,000 0 0	団体会費(年間)中央会120000円、 著作権団体協議会12000円 振込み、支払い手数料他 火災保険料 資料代、等
一般管理費計		23,000 0	
2. 事業外費用 特別会計15周年特別事業 計		30,880 3,167,360	記念事業費
小計		0 0	
収支合計 収支	12,562,800	3,167,360	

第5号議案 借入金残高の最高限度額承認の件

年間総額 800 万円まで